

Essay

Sapiarc.com

2009年1月4日 (2009-01)

ニューイヤーコンサートと世界平和

元日に、ウィーン楽友協会大ホールで、恒例のウィーンフィルによるニューイヤーコンサートが華やかに行われました。ニューイヤーコンサートは、ドイツ語ではノイヤールコンツェルト (Neujahrkonzert) のはずですが、この言い方をしているのは聞いたことがありません。余談のついでに言うと、「楽友協会」というのはドイツ語の Musikverein の訳ですが、これを何故「音楽協会」と訳さないのか分かりません。Musik は勿論英語の music に相当し、Verein は協会を意味していますから、普通に訳せば、音楽協会になると思います。

私はウィーンには数回行ったことがあります。楽友協会の建物は、地下鉄の主要駅であるカールスプラッツ (Karlsplatz) 駅の近くにあり、市電が走るリンク (Ring, 環状道路) の外側にあり、リンクに面しているオペラ座 (国立オペラ劇場, Staatsoper) とは 300~400 メートルぐらい離れています。私は、オペラ座には 1 回だけ行ったことがあります。楽友協会大ホールに入ったことはありません。できることなら、ニューイヤーコンサートに行ってみたいものですが、これは夢に終わりそうです。

今年のニューイヤーコンサートの話題は、指揮者がダニエル・バレンボイム (Daniel Barenboim) だったことだと思います。私は音楽通ではないので、この音楽家については、高い名声の持ち主であること、政治的ともいえる言動が物議をかもしたことぐらいしか知りませんでした。そこで、

Wikipedia を参照したところ、かなり詳しい説明がありました。

それによると、バレンボイムの両親はロシア出身のユダヤ人で、彼は 1942 年にブエノスアイレスで生まれましたが、1952 年に家族とともにイスラエルに移住しました。これは現在のイスラエル国が成立してから 2 年後という早い時期なので、おそらく両親はシオニストだったのでしょう。彼はイスラエル国籍を持っています。

バレンボイムは、少年のころからピアノ演奏に素晴らしい才能を発揮し、早くから欧米で認められたのですが、正規の音楽教育を受けておらず、ピアノは両親から学びました。ピアニストとしての名声を確立してから、段々に指揮者を務めるようになりました。これは、少年時代に、往年の名指揮者フルトヴェングラー (Wilhelm Furtwängler, 1886-1954) に認められて以来、フルトヴェングラーに私淑しているためだとされています。

ピアニストとしてのバレンボイムは、ベートーヴェン、ブラームス、バルトークなどの重厚な曲の演奏に定評がありましたが、今回のニューイヤーコンサートでは、ワルツやポルカを軽妙に指揮しただけでなく、いろいろな仕草をして見せて、観客を大いに喜ばせました。とくに、ハイドンの「告別」の演奏において、楽団員が次々に去っていくときに見せた表情は面白いものでした。現代屈指の指揮者の名演技でした。

バレンボイムは、イスラエル政府の対パレスチナ政策をしばしば批判してきてきました。イスラエル政府の姿勢を「倫理的におぞましく、戦略的に誤っていて」、「イスラエル国家の存在を危機に陥れる」ものと非難したとされています。また、ヴォルフ賞受賞演説の中で、「ユダヤ人民の歴史は苦難と迫害に満ちていますが、隣国の民族の権利と苦難に無関心であってよいものでしょうか。イスラエル国家は、社会正義に基づいて実践的・人道主義的な解決法を得ようとするのではなしに、揉めごとにイデオロギー的な解決を図ろうと企むなど、非現実的な夢にふけていてもよいものでしょうか。」と述べたそうです。

2008年の暮れから、パレスチナでは多数の死傷者が出ています。（この「ひとこと」を書いている1月4日には、イスラエルの地上軍がガザ地区に侵攻しました。）この事態の中で行われたニューイヤーコンサートで、バレンボイムが何か発言するのではないかと、私は予想していました。それは当って、演奏の合間に、バレンボイムは「2009年が平和な年となるように、また、中東で人道的正義が行われるよう願っています。」という短いメッセージを發しました。英語を使ったのは、全世界に向けて發信したかったからでしょう。“Human justice in the Middle East”と言ったことが印象に残りました。

今年で59回目だった華やかなニューイヤーコンサートは、これまでヨーロッパの平和の象徴であり、それはアメリカの平和、そして日本の平和と分かちがたく結びついていました。2009年に世界情勢が良い方向に変わっていき、ニューイヤーコンサートが世界平和の象徴となるような状況になって欲しいと思います。（おわり）